

M-style

〔エム・スタイル〕

みんなの未来がみりよくあるものに
みんなによりそう みじかな みやけ



天童市議会議員 三宅和広 活動報告 No.7

今回の一般質問 天童市議会 令和6年12月定例会

今回は、救急搬送体制について質問をさせていただきました。

■ 救急搬送体制での日勤救急隊の導入

救急車の出場は8時から18時までの日中の出場が多く、約60%がこの時間帯に集中しています。この状況に対応するために、これまでの24時間勤務の隊編成のほかに、平日の日中の時間帯だけを担当する日勤救急隊を導入してはどうでしょうか。

救急搬送体制の強化や救急隊員の負担が軽減されますし、また、24時間勤務が困難な職員も救急隊員として勤務できるため、職員の働き方の選択肢が広がるというメリットもあると考えますが、いかがでしょうか。



(市長等の答弁)

- ⇒日勤救急隊の導入については、災害対応力の強化と救急隊員の負担軽減につながるため効果的であると考えます。
- ⇒しかし、救急隊員を増員しなければならないという課題があり、当面の導入は難しいものと考えています。
- ⇒救急隊員の増員については今後の検討課題とし、市民の生命、身体、財産を守るため、日勤救急隊の導入による救急要請対応の強化を含め、激甚化、多様化する災害に対して迅速に適切な対応ができるよう、消防力全体の強化を図っていく。

一般質問の様子を
ご覧いただけます



〔裏面もご覧ください〕

静岡県熱海市・伊東市を視察

私が所属する会派「てんどう創生の会」のメンバー4人で訪問しました。

熱海市では様々な取組みを実施し、創業支援による地域活性化を図っています。その効果として、新事業が次々と誕生していました。

伊東市では、まちなかのにぎわいを創出するため、新年度から熱海市でも実施した「リノベーションスクール事業」を計画しています。また、にぎわい演出事業として、「ゆかた」と「竹あかり」をコンセプトにして、滞在中の満足度アップを狙っています。

両市ともに取り入れる「リノベーションスクール」。実際の空き店舗や空き家などを活用したビジネスプランを創り出す「実践型スクール」とのことです。天童市でも実施したい事業です。



一般質問 その後 企業版ふるさと納税の活用

令和2年9月定例会の一般質問で、企業版ふるさと納税の活用について質問をさせていただきました。その後も3回ほど一般質問の中でその活用を提案しています。

令和6年度からサッカー新スタジアムの建設費に充てるために、モンテディオフットボールパークが実施主体となり企業版ふるさと納税を始めました。天童市としても企業への積極的な働きかけが必要です。



また、ほかの事業でも企業版ふるさと納税を積極的に活用していく必要があります。企業が支援したくなる事業を立案して実施する必要があるのではないのでしょうか。

議事録は
こちらから



M-style

みんなの 未来が ありよくあるものに
みんなによりそう みじかな みやけ

みやけかずひろ

検索



こちらをご覧ください。
<https://miyake.exp.jp/SNS.html>